こんにちは

中根さちのハーブレター

日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース　県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20　2017. 11. 12
自宅 872-9324 高知市福井町1475-3　NO. 538

財務省に要請する（左から）大門、仁比、塚地、迫の各氏＝31日、国会内

（2017. 11. 1 しんぶん赤旗より）

旧陸軍遺跡 保存へ一歩

敷地の売却留保 共産党に国表明

高知県・市議団要請
大門・仁比氏が同席

高知市朝倉の戦争遺跡、旧陸軍歩兵第44連隊の弾薬庫と講堂の残る国有地が売却されようとしている問題で、財務省理財局は31日、11月に予定していた一般競争入札を留保すると表明しました。同日、国会内での日本共産党高知県議団・高知市議団の要請で明らかにしたもの。市民から遺跡の保存を求める声が上がっており、今後、保存に向けた敷地の取得等、地元自治体の姿勢が問われることになります。

要請には塚地佐智県議、迫哲郎市議が出席し、大門実紀史、仁比聡平両参院議員が同席。理財局の担当者は、県教育委員会から敷地取得を検討する間、売却手続きを待つよう申し出があったとして「11月の入札をいったん留保する」と表明しました。同時に、本格的な売却中止には、県の姿勢が重要だと指摘。「現地の担当事務所に皆さんの声を伝える」と述べました。

遺跡は、2016年に高知市が委託した調査で歴史的価値が確認され、地元の「旧陸軍歩兵第44連隊の弾薬庫等を保存する会」が保存を求めて署名運動。9月の県議会で、吉良富彦党県議に対し尾崎正直知事が、入札手続きの停止を国へ要請することを示唆していました。要請後、塚地県議は「今後も県議会で取り上げ、市民運動と結んで保存を働きかけたい」と話しました。

陸軍44連隊遺跡売却留保を表明

9月県議会 知事答弁をもとに財務省に要請し実現

高知大学朝倉キャンパスに隣接する旧陸軍歩兵第44連隊弾薬庫など、敷地を売却せずに戦争遺跡として保存活用をするようにと、9月県議会で吉良県議が代表質問を行ないました。

知事は、「売却手続きが進められようとしており、検討可能な時間は限られているのではと危惧するので、その点については財務事務所に要請したいと思います」と答弁。直後に財務省に要請しています。

日本共産党県議団も、10月31日に国に要請。（左の記事）その場で「売却留保」となり、県は来年2月までに、土地取得の是非について結論を出す予定です。

「9条改憲ノー」集会

「戦争反対」の共同広げ 中央集会 4万人、高知 250人超

11月3日、安倍政権による9条改憲に反対する行動が全国各地で開催されました。

高知では、広田一氏、白川ようこ氏、社民党、新社会党代表もあいさつ。憲法を軽んじないがしろにすることは許せない、穏健保守の人も含め巾広い運動で改憲ストップを と訴えました。

てくてく歩記（535）

わたしの

高知工科大学が創立20周年を迎え、祝賀セレモニーに参加しました。記念講演は、ノーベル物理学賞をとった梶田隆章さん「神岡でのニュートリノ研究をふり返って」。すぐに結果が出なくても長い研究のつみ重ねと気づきが科学の進歩につながる事を実感できるお話に感激。研究予算が削減されることへの心配も含め、基本をささえる国の姿勢が問われています。